

入
場
無
料

申
込
要

長野県内の支持療法のレベルアップを目指して ～がんリハビリテーションを中心として～

日時 平成26年 **11月22日** (土) 14:00～17:00

真のがんの征圧には、手術、化学療法、放射線治療などがん根治を目指した積極的療法だけではなく、がんに伴う痛みなどの症状緩和、精神的サポート、がん治療による副作用の軽減、身体機能の回復、社会復帰支援などを目的とする支持的療養は欠くことのできないものです。しかしながら、積極的療法に比べ支持療法（サポータイブケア）の取り組みは遅れているのが現状です。

今回、支持療法の中でがんリハビリテーションをテーマにシンポジウムを企画しました。がん患者では疾患および治療に伴い、種々の身体的機能障害が生じます。これら機能障害の回復および緩和は、がん治療やがん患者の QOL 向上において重要な役割を占めます。長野県におけるがんリハビリテーションの向上を目指して、ともに学びましょう。



場所 信州大学医学部附属病院外来棟 4階 大会議室

対象者 医療関係者

プログラム

シンポジウム 14:00～16:00

「長野県内におけるリハビリテーションの現状と課題」

座長 小泉 知展 (信州大学医学部包括的がん治療学教室教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン信州大学コーディネーター)
吉村 康夫 (信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副部長)

- ① 周術期のリハビリテーション
関崎 研八 (社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 運動器リハセンター 理学療法士)
- ② 骨転移に対するリハビリテーションの現状と課題
高田 明子 (信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 作業療法士)
- ③ がん患者の嚥下リハビリテーション
～手術療法と放射線療法2症例を比較から～
藤森 貴久 (社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 心臓病リハセンター 言語聴覚士)
- ④ 自宅退院を目指し多職種がシームレスに関わった1症例
市川万紀子 (佐久総合病院 佐久医療センター リハビリテーション科 作業療法士)
市川 美香 (佐久総合病院 佐久医療センター 地域ケア科 理学療法士)
- ⑤ 訪問リハビリで経験した在宅でのがんリハビリテーション
山田 友春 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院
訪問リハビリテーション科 理学療法士)

特別講演 16:00～17:00

「がん医療におけるリハビリテーションの役割」

座長 栗田 浩 (信州大学医学部歯科口腔外科学教室教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン支持療法委員会委員)
講師 辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授)

お問い合わせ先

信州大学大学院医学系研究科
がんプロフェッショナル
養成基盤推進プラン事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1 (松本キャンパス)

TEL 0263-37-3376 (大学院係)

E-mail mgaku_gp@shinshu-u.ac.jp

会場までの交通

バス

松本バスターミナル (JR松本駅前「アリオ」1階) のりば1「信大横田循環線」または「浅間線」に乗りし、「信州大学前」下車

お車で来学の場合

医学部附属病院外来駐車場に駐車してください。(有料)

